

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆企業物価40年ぶり伸び 原材料急騰、収益を圧迫

・資源や原材料などの価格が急上昇し、日本企業の収益を圧迫する構図が強まってきた。日銀が11日発表した10月の企業物価指数は前年同月比8.0%上がり、約40年ぶりの伸び率になった。世界的な供給制約や原油高で輸入物価が高騰している影響が大きい。半面、最終財では値上げの動きが鈍い。どこまで波及するかが今後の焦点になる。

◆米中、首脳協議にらみ環境整備 気候変動を接点に

・米中両政府は10日、気候変動対策での協力策を盛った共同宣言をまとめた。バイデン米大統領と中国の習近平国家主席が来週にも実施するオンライン形式での首脳協議に向けて環境を整えるのに最も適したテーマが気候変動対策といえる。共同宣言はこの1年間で開いた約30回の交渉の成果だという。

◆政府、中小企業に最大250万円支給へ 5カ月分を一括で

・政府が経済対策の柱の一つに位置づける事業者向け給付金の具体案が10日、明らかになった。新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けた中小企業に業種を問わず最大250万円を支給。2021年度補正予算案に3兆円程度を関連経費として計上。月間売上高が前年か前々年の同月より大幅に減った事業者を対象とする。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆鉄鋼商社9社 4-9月期 需要が回復 3社通期最高予想

・鉄鋼主力商社9社の2021年4-9月期連結決算が10日出そろい、鉄鋼需要の回復、鋼材価格の上昇などを背景に全社が大幅増益となった。北米を中心に良好な市場環境がおおむね続く見通しで、事業構造改革など経営努力の効果も加わって、阪和興業、JFE商事、日鉄物産は過去最高となる通期利益を予想する。

◆日本製鉄、H形鋼を追加値上げ 11月分から1トン3000円

・日本製鉄は11日、ビルの柱や梁(はり)に使うH形鋼の一般流通(店売り)向け価格について、11月契約分から1トン3000円引き上げると発表した。鉄鉱石、合金鉄などの原料価格や燃料費などが上昇しており、製品価格に転嫁して採算を改善する。国内外の鋼材需給の逼迫も踏まえた。値上げは9月契約分以来、2カ月ぶり。

◆東京都心のオフィス空室率、小幅上昇 10月6.47%に

・オフィスビル仲介大手の三鬼商事が11日発表した10月の東京都心5区(千代田、中央、港、新宿、渋谷)の空室率は6.47%と、9月から0.04ポイント上昇。供給過剰の目安である5%を9カ月連続で上回った。地域ごとにオフィス需要の濃淡がみられ、空室率の上昇は小幅となった。地区別では千代田区が4.78%と9月比0.17ポイント、新宿区も6.79%と0.66ポイント上昇。

《 注目商品 》

■ダイキン工業とオカムラ、オフィス内で自然の風を再現する「ウィンドユニット」

・自然の風を再現する『ウィンドユニット』を共同で開発。ダイキン工業が開発した自然の風を再現する大型送風機「Wind Creator」をオカムラが展開する家具シリーズ「Lives(ライブス)」のシェルフに組み込み、ユニットとして新規開発。未来のオフィス空間を実現していくためのプロジェクト。



■ノーリツ 高効率ガス温水暖房付きふろ給湯器

・スマートフォンから浴室の予備暖房や見守りができ、ヒートショック予防に貢献する高効率ガス温水暖房付きふろ給湯器「GTH-Cシリーズ」、無線LAN対応リモコン「RCG001EW-3」、浴室暖房乾燥機「BDV-(M)4106、M4107」。



■YKK AP、エクステリア商品「ルシアス バルコニー」から奥行4尺サイズを発売

・「ルシアス バルコニー」奥行4尺サイズを12月6日から発売。ユニット型持ち出し式バルコニーとして業界初の奥行4尺へのサイズ拡充により、バルコニーのさらなる有効活用が可能、自宅で過ごす“おうち時間”を充実し、安全性と快適性を両立したアウトドアリビング空間を創出。

